学校番号	３０１

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭総合　自立・共生・創造　　（東京書籍）						
副教材等	家庭科５５（GO!GO!）資料集　　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇自分の生活は、自分が得た知識、自分の判断や行動で改善できることを認識してください。
・まずは自分が生きていくうえで必要な生活（食・衣・住）に関する知識を深めましょう。知らないことがたくさんあります。健康で安全に生きる知識を身につけてください。
・「社会と自分」は大きく関わりあっていることを確認しましょう。共生社会の中で自分の立ち居地を知ることは大事です。何をすべきか何ができるか、確認しましょう。
・生活上の問題点、課題を話し合いの中で見つけ、多くの意見を出し合い、改善方法を検討しましょう。たくさんの考えや意見から新たな自分なりの価値観を創り出してください。能動的・主体的な姿勢を持ちましょう。
・実習・実践することで単に知識で終わらない活用能力を養うことができます。また、体験的学習を通して技術を身につける楽しさも感じてほしいと思います。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子供や高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち､その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに､実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし､その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的･基本的な知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 実習記録表 レポート、発表、 自己評価　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 実習記録表 レポート、発表、 定期考査の結果 自己評価　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 製作作品 レポート、発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期4月～6月	子どもとともにともに育つ	○子どもの育つ力を知る ＊ミニ絵本作成 ○親として共に育つ ＊子どもの成長動画から学ぶ、考える。 ○子どもとの触れ合いから学ぶ ＊幼稚園を訪問し、園児と交流する、感じたことを発表する ○これからの保育環境 ＊児童福祉について 日本の状況を知る、問題点を考え、話し合う	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめ、課題を見いだし、その解決を目指して考え、表現している。 c:子どもと適切に関わることができ、子どもの健やかな発達を支える技術を身につけている。 d:子どもの発達と保育について、理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート レポート 発表 実習記録表 定期考査
1学期7月 2学期9月～12月	食生活をつくる	○食生活について考える ＊現代の食生活を分析していく ○食事と栄養・食品 ＊食品成分表を使いこなす ○食生活の安全と衛生 ＊食の安全は守られているか ○調理の基礎 ＊調理実習　3回(10月～2月) ＊栄養・食品・調理の知識を深める ○食生活と文化 ＊日本の食の今までとこれから ○これからの食生活 ＊食生活改善プロジェクト プレゼンテーション	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について関心をもち、それを築くための情報・知識を取り入れようと意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活を提案し、現代の食生活が抱える課題に対し、どのような解決策があるか考え、適切な判断ができる。 c:生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生などの技術を、調理実習を通して身に付けている。 d:栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実習・実践を中心とした学習を通して、その理論を科学的に理解している。また、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 製作計画 実習レポート 製作作品 発表 自己評価表 定期考査
3学期1月 2月	経済生活を営む・生活設計	○職業生活を設計する ＊経済的自立について考える ○計画的に使う ＊ライフステージごとの収入・支出を想定する。リスクマネジメント ○消費行動と意思決定 ＊販売方法の変化に対応するために ＊キャッシュレス社会で生きるためには ＊支払い方法を選択する ○生活設計 ＊将来の生活設計をすることで、今からどのようなことができるか考える。どのような能力を身につけ、情報を取り込んでいくことが必要か考える。 ＊私たちの生活と社会のつながりについて考える。 プレゼンテーション	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a:消費生活と生涯を見通した経済的自立、経済計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:消費生活と生涯を見通した経済的自立、経済計画・管理、生活設計について、問題点を見いだし、解決のための判断ができる。また、経済的自立に向けて考え、表現できる。 c:消費生活と生涯を見通した経済的自立、経済計画・管理のために必要な情報を取捨選択する力を身に付け、生活設計を立案するための技術を身につけている。 d:消費生活、経済的自立、経済計画・管理、生活設計に必要な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 自己作品 発表 自己評価表 相互評価表 定期考査